

神話スライド s e t シリーズ

ペルセウス座

スライド枚数	: 10枚+6枚
時間	: 4分7秒
イラスト	: 高部 哲也
語り	: 藤田 淑子

LIBRA CORPORATION



+音始まり

8



1. 古代エチオピア王国は、ケフェウス王とカシオペア王妃によって、平和に治められていました。

二人の宝物は一人娘のアンドロメダ姫。
大変美しく、心優しい娘で王妃カシオペアは、そんな娘をたいそう誇らしく思っていました。



2. ところがある日、娘を自慢するあまり、
「私の娘の美しさには、
海の妖精ネレイドたちだって
かなわないでしょう」
と口を滑らしてしまったのです。

+音変わり



3. 妖精ネレイド、といえば、海の神ポセイドンのかわいい娘たち。
怒ったポセイドンは、
恐ろしい化け鯨をエチオピアの海岸に差し向けたのです。

3



4. 暴れ回る化け鯨。

そのすさまじいまでの破壊力には、国王の兵隊さえどうすることもできません。

3



5. 思いあぐねたケフェウス王は、

娘アンドロメダを生け贄に差し出すことにしました。

心の優しいアンドロメダは、国を救うため進んで岩につながれたのです。



6. ほどなく恐ろしい化け鯨が現れました。

せまる化け鯨。

まさに、アンドロメダ姫が餌食になろうか、というそのとき！

+音変わり



7. 天馬ペガサスにまたがった勇者ペルセウス王子が現れました。

ペルセウスの手には、退治したばかりの怪物、メドゥーサの首。

その恐ろしさは、見るものすべてを石に変えてしまうほど。

3

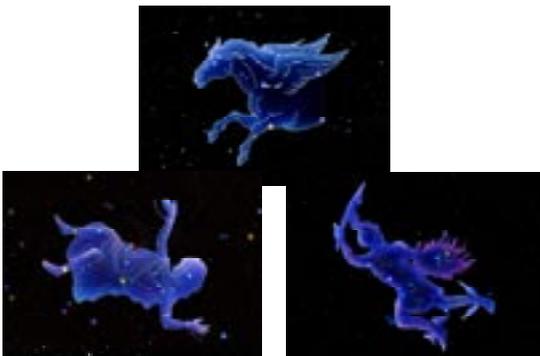


8. 気配に振り向く化け鯨。
すかさず、ペルセウスはメドゥーサの首を差しだします！



9.
SE ギャー！
さすがの化け鯨も、石になり海の底深く沈んでいきました。

+音変わり



10. 秋の夜空には、この物語の登場人物たちが勢ぞろいしています。

堂々とまんなかにいるのは、なぜか、ペルセウスを乗せていた天馬ペガサス。
そのすぐそばには、この事件のあと、結婚して幸せに暮らしたアンドロメダとペルセウスが、
今も、仲良く星空に並んでいます。

11. そんな二人を、ほほえましく見つめているのが、ケフェウス王とカシオペア王妃。



ただ、カシオペア王妃は、おしやべりの罰として、両腕を高く掲げたままのちょっと苦しい格好です。



12. そして、この物語の本当の主役。

神様の命令を立派に果たした挙句に石にされてしまったかわいそうな化けくじらも、ちゃんと星座になりました。

3

13. 秋の夜長、よく晴れた日には、こんな物語を思い浮かべながら、星座をたどってみてはいかがでしょうか？

(※ 10～13のシーンでは、
本体星座絵や汎用性座絵をご利用いただくか、のカラー星座絵スライドをご自由にお使いください。)

音終わり